

## イノアックは、イノアックに関わるすべての人々から信頼される企業をめざします。

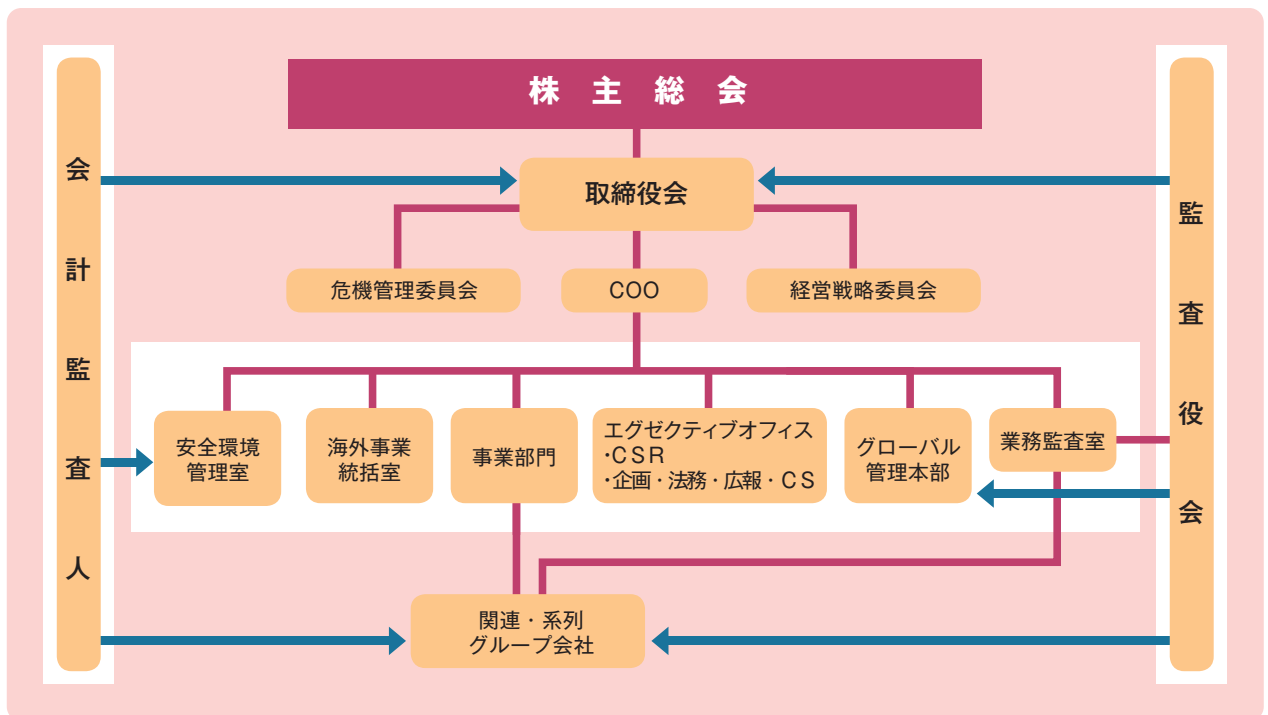
「挑戦」「CS」「誠実・信頼」「収益」「チームワーク」「責任」を行動指針と定め、社内外ともに裏表、偽りのない行動で「企業理念」を追求し、イノアックに関わるすべての人々から信頼され敬愛される企業を目指し、CSRへの取り組みを通じて、社会の持続的な発展に寄与して参りたいと考えております。

## コーポレートガバナンス

### コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方

イノアックグループはひとつの事業に特化することなく、ウレタン・ゴム・プラスチック・複合素材という4つの素材をもとに、多くの事業を育て、企業体として多彩な製品、サービスを作り出して社会に貢献して参りました。さらに企業業績・企業価値・社会的信用性を高めるためにコーポレートガバナンス強化を重要な経営課題と位置付けております。

イノアックグループのコーポレートガバナンス体系図（組織系統図）



### ●コーポレートガバナンス体制

イノアックコーポレーションでは、監査役会を設置し、監査役によるモニタリングを実施しています。監査役は取締役会に出席するとともに、取締役による職務執行内容を監査役3名が監督・監視しており、その内の2名は社外監査役で外部からの視点でもチェックしております。

### ●内部統制システム

職務の執行内容を法令及び定款に適合させるため、さまざまな施策を行っています。

- ◎コンプライアンス：コンプライアンス委員会活動と「企業行動規範」の全社員への教育
- ◎情報管理：文書管理規程により文書毎の保管部署、期間を定めた管理
- ◎企業集団としての管理体制：関連・系列会社においては、関連会社管理規定を制定。業務運営ルールを明確にするとともに、必要に応じ監査役による監査を実施
- ◎リスク管理：各種リスクに対し経営会議でマネジメントしており必要に応じ危機管理委員会を開催「マイナス情報ホットライン」の常設によるリスク情報の早期入手と対応体制を確保

## コンプライアンス

### コンプライアンスへの取り組み

#### 1 コンプライアンスにおける基本的な考え方

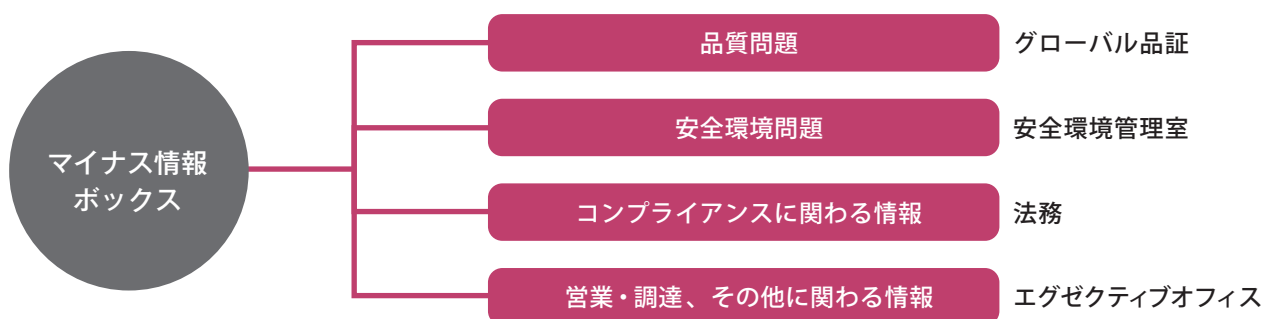
イノアックコーポレーションでは、コンプライアンスとは、法令を守ることにとどまらず、従業員一人ひとりが高い倫理感を持って行動することであると考えております。企業としての社会的責任を果たし、お客様の期待にこたえていくためには、法令順守はもちろんのこと、従業員が企業の一員としての社会的責任を意識することが必要不可欠です。そのため当社では、社内規程等の整備にとどまらず、従業員へのコンプライアンスの意識を高めるために営業担当者、調達担当者、新入社員、中途入社社員への法務研修等の充実を図っております。

#### 2 推進体制

当社は、2008年に「コンプライアンス管理規程」を定め、社内の規程を整備するとともに、従業員のコンプライアンスへの意識を高めるための体制作りを進めています。この取り組みの一環として、2010年からは、グループ会社へのコンプライアンス徹底の取り組みもスタートいたしました。当社の社内手続規程を、グループ会社にも適用可能なものへ改訂をおこなうとともに、あらためて各グループ会社への周知徹底を行いました。これによって、各グループ会社においてもコンプライアンスの順守を徹底することができました。

#### 3 相談窓口の設置

コンプライアンスの徹底のためには、万が一、コンプライアンス違反行為があった場合に、企業として迅速な対応を取ることが必要です。そのために当社では、法務グループを相談窓口とする「ヘルプライン」を設置し、誰でも直接相談できる窓口を設置しました。また、別途「内部通報および公益通報者保護規程」を設け、通報者が不利益な扱いを受けることがないよう体制を整えています。



コンプライアンスに関わる情報のみならず、品質関連問題、安全・環境問題、営業・調達・その他の問題が発生した際には迅速に対応し問題の拡大を防ぐため、マイナス情報ボックス(受付窓口)を設置しております。

## 調達



## 調達基本方針

## 1) グローバル調達活動の推進

イノアック国内外の拠点を活用したグローバルな調達活動と、パートナー関係の強化を図ります。

## 2) 法令・社会規範及び社内規程の順守

法令・社会規範及び社内規程を順守し、健全で開かれた調達活動を推進します。

## 3) 公平・公正で誠実な調達活動の推進

お取引先様に対して公平・公正な競争の機会を提供し、誠実な調達活動を推進します。

## 4) 地球環境に配慮した調達

イノアック環境方針に基づき、地球環境に配慮した調達活動を行い環境保護に貢献します。

## 5) お取引先様との相互信頼に基づいたパートナーシップの構築

お取引先様との強固な信頼関係と連携を図り、技術力及び品質の維持・向上に努めます。

## グローバル拠点における最適調達の実施

原材料、部材等の現地調達を通じて事業拠点の所在する国々に貢献し、最適品質・最適価格に加え、長期的な取引を念頭に入れたお取引先様との良好なパートナーシップを目指します。またグローバル生産に対応した、より戦略性の高い購買活動を推進いたします。

## お取引先様との双方向コミュニケーション強化

年2回、お取引先様約100社にご参加いただき調達連絡会を実施しています。

内容は、生産情報の展開や品質の取り組み、コンプライアンス活動、安全活動、機密管理、有害物質管理など、継続テーマについてです。その内容の充実を図ると共に、経済情勢・今後の動向など情報の共有化を行い、お取引先様との連携を深めています。また、品質向上の為の改善及びその意識の向上などをテーマとして、勉強会・講演会を年2回、改善事例発表会を年1回開催し、企業レベル向上のための活動を行っております。



講演会風景



調達連絡会風景

## グリーン調達活動の推進

弊社では、地球環境に配慮した調達活動推進のため、イノアックグループの製品を構成するすべての部材・材料及び製造時に使用される材料の調達において「イノアックグリーン調達基準」に基づき、含有禁止物質の不使用及び管理物質の管理・削減を継続的に実施しています。

また、お取引先様の皆様には、持続可能な社会の構築に向けて、弊社グリーン調達へのご理解とご協力をお願いするとともに、これまでの欧州ELV規制、ROHS指令等に加え、欧州REACH規制等新たな環境規制に対する確認分析等の取り組みを一体となって進めています。

## 従業員に対する取り組み

### 人材育成

グローバル人事総務部では、『社員教育』を生涯学習の一環として位置づけ従業員の持つ特性や能力を引き出し、あらゆる場で生かせる環境作りと定義しています。教育項目は大きく分けて、3つに大別しています。

- ① 『仕事内容に関する教育』・・・業務に関する基礎知識や専門知識、技能の習得を目指す
- ② 『人間性に関する教育』・・・人間の魅力、社会人としての常識、精神面などの心の確立を目指す
- ③ 『能力アップに関する教育』・・・将来必要とされる能力養成(人材育成)を目指す

### グローバル人材育成

イノアックグループは、全世界に50を超える事業所(工場、事務所)があります。これからの世界的なグローバル化(ボーダーレス)に対応する為に、イノアックでは『グローバル人材育成』にも力をいれています。『グローバルマインドセット研修』や『海外研修』・『海外語学留学』などを新入社員の時から実施しています。人事ローテーションは、国を問わず頻繁に行われています。

#### 海外語学留学を経験して



2007年入社  
中国(IES社)駐在  
若松 洋平

私が留学していたのは中国の蘇州大学です。大学の中に外国人が中国語を学ぶ講座があり、そこで中国語を学びました。集中的に中国語だけを学ぶことで、その後の(中国駐在での)業務がやりやすくなりましたが、実際は、仕事が始まってから学ぶことも多かったです。未だ中国語が完璧ではないので、毎日が勉強と思って中国での駐在業務をしています。



2006年入社  
中国(DIME社)駐在  
戸村 匡

語学留学で最も良かったことは、自分の力で言葉・文化・考え方に順応しなければ生活できない環境で過ごせたことです。語学留学の華南師範大学は日本人留学生が10人ほどだったため、留学中はできるだけ日本人以外と行動をして多くのことを学びました。留学後は、中国駐在となり、現地スタッフとのコミュニケーションに必要な最低限の中国語が身に付いていたことは心強かったです。また中国語を使った方が仕事がスムーズに進められることも実感しました。

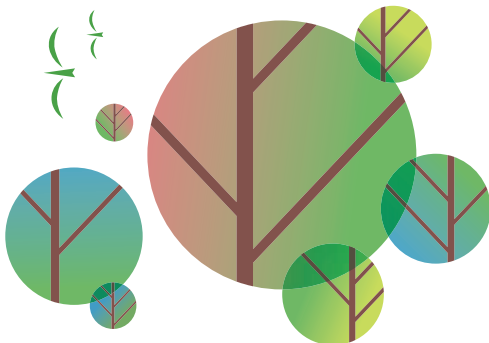
### 製造技術の伝承

イノアックグループでは、製造(ものづくり)を後世に伝える教育を進めています。講義だけでなく実際にモノに触れながら学ぶ体験学習を実施しています。また一昨年(2009年)より、現役班長クラス向けに、監督者として必要な現場の問題点解決の実践力向上を目指す『製造部門監督者研修』を導入しました。この研修では、イノアックをリタイアしたシニアを特別講師に招き、五ゲン主義(原理・原則・現地・現物・現象)で教育しています。

## 両立支援のための制度

従業員が働きやすい環境づくり、女性の活躍推進を目的に、仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組んでいます。育児休業規程では、子が2歳に達するまで育児休業取得可能とし、子の看護休暇は1人の場合は5日間、2人以上の場合は10日間特別休暇(有給)を付与しています。また、最長3年間(子が小学3年生までが対象)取得可能な「育児短時間勤務制度」を導入しています。

ほかにも、保育園・幼稚園・学校・自治体の家族に関わる行事参加、介護を必要としている人の病院・介護施設への付き添い等の理由で休暇を取得した場合、優先的に休暇を取得できるファミリーサポートホリデー休暇制度やフレックスタイム制度、配偶者出産時に取得できる5日間の特別休暇(有給)を設けています。



## 女性社員の登用

イノアックグループでは、女性社員の能力を引き出して、そのスキルや知識を業務で発揮してもらうために積極的に女性社員の活用を図るとともに、会社へ貢献できる環境づくりを進めています。女性社員の管理職登用もその一環として挙げられ、現在7名が管理職に就いてイノアックグループの各分野において活躍しています。

[女性管理職昇格者数]

2002年	2007年	2008年	2009年	2011年	合計
1	1	2	2	1	7人

[育児休業等利用状況]

	2007年		2008年		2009年		2010年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
育児休業		14		16		17	1	14
短時間勤務						8		11

※2010年 初の男性育児休業取得  
両立支援の制度を整える事により、2010年に初めて男性が育児休業を取得しました。

[両立支援制度一覧]

配偶者出産休暇	1980年以前
フレックスタイム制実施	1990年
女性再雇用規程	1990年
介護休業規程	1990年
ハッピーホリデー休暇	1991年
育児休業規程	1992年
母性健康管理の措置に関する規程	1998年
半日有給休暇取得制度	2000年
ファミリーサポートホリデー休暇	2005年
子の看護のための休暇	2005年
育児休業規程改訂(休業期間延長)	2005年
育児短時間勤務制度施行	2008年



## 管理職に昇格して

イノアック技術研究所  
浅尾裕美

2011年4月より研究所の管理部門(総務・経理)の管理職に昇格しました。管理部門は業務範囲が広く、その分、自己裁量で仕事を進められる事が多いので、大変やりがいがあります。管理職となり、係長時代には出来なかった新しい仕組み作り等、積極的に取り組んでいきたいと考えています。3.11の震災により日本は転換期を迎え、様々な面で変化が求められます。大きな環境変化の中で、今後も事業発展のため、そして自分自身の成長のために、努力を続けて行きたいと思います。

## イノアックグループ安全活動

### 1 イノアック基本方針

人間愛を基本として、全員参加の安全・防災活動を推進し、安全に強い人づくり、公害ゼロ・災害ゼロの快適職場づくりを図る。

### 2 イノアック安全・衛生月間活動

- 厚生労働省の運動行事に併せた活動
- 過去の災害に学んだ月次重点実施事項（毎月）
- 職場のルール見直し、職場掲示

### 3 全社安全衛生委員会の開催

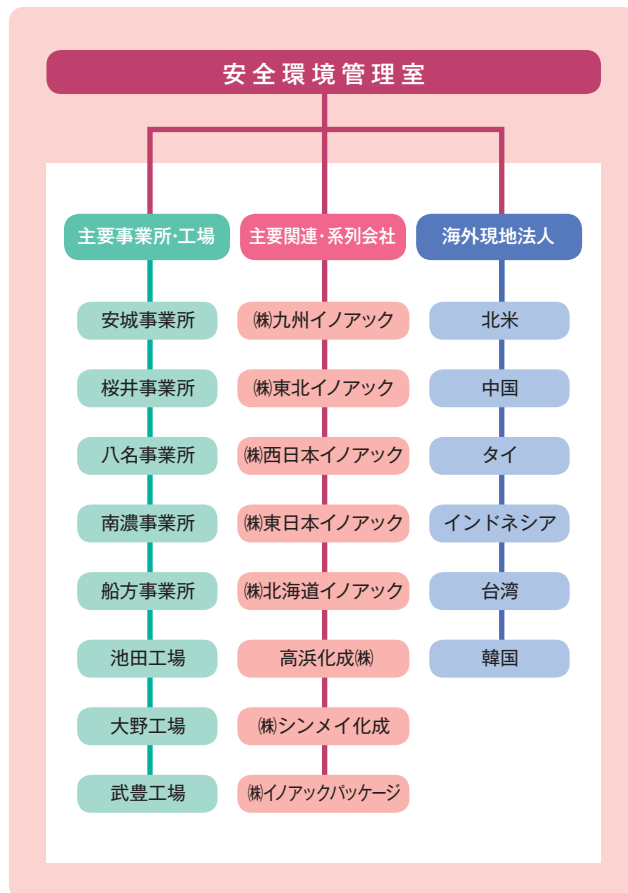
- 社長を委員長とした中央安全衛生委員会を年4回と、役員点検年2回実施（主要工場）
- 実担者安全衛生委員会を年8回開催
- 工場内安全衛生委員会を月1回開催

### 4 健康増進に向けた取り組み

- 産業医の毎月の工場巡視、安全衛生委員会での指導を月1回開催
- 相談窓口設置によるメンタルヘルスサポートの実施
- 事業所内の分煙化の徹底
- 快適職場作りとして、管理区分低減活動

### 5 リスクアセスメント活動

- 昨年再活性化したリスクアセスメント活動の継続
- イノアック各工場へ横展開



## 防災活動

### 1 大規模地震災害減災体制 従来の対策本部制から危機管理委員会制への検討

- 1) 建屋・設備・地震減災対策
  - 人命第一を基本とし建屋（震度6強）補強工事、設備、外構、什物の転倒・落下対策と出火防止対策
  - 重点設備：受電・ボイラ・ガス・原料タンク・危険物の停電対応・危険物流出防止
- 2) 地震発生時減災への備え
  - ハード・ソフト見直しと訓練（緊急連絡網・避難誘導・備蓄品・防災資材・通信等の設備）
  - 衛星電話の増設
- 3) 地震・災害発生後の対応
  - 発生後対応訓練（初動体制・復旧本部立上げ・避難訓練・連絡網整備など）

### 2 火災・風水害対策

- 1) 生産現場の火災・防爆予防
  - 重点設備（加熱炉・集塵機・火災発生設備）の見える化と日常点検・管理強化
  - 危険物・可燃物管理の徹底・危険物可燃物取扱職場の見える化と防火対策
  - 火気使用工事の火災・防爆防止作業体制確立と安全作業の徹底
- 2) 風水害対応体制の確立
  - 防災機器の設備と管理体制の強化
  - 防災関連設備、危険物管理状態の定期監査とパトロールの実施

## 社会・地域貢献活動

## イノアック・イノベーションサポート

イノアックでは、ささやかながら地域社会への貢献の一助として文化支援活動「イノアック・イノベーションサポート」を毎年にもわたり続けています。内容はバレエやオペラ公演への協賛など、多岐にわたっています。

このような各種イベントへの協賛等により、文化振興に貢献するだけでなく、社会とイノアックの結びつきを一層深めるきっかけとなることと信じています。今後も積極的な支援活動を続けていきます。



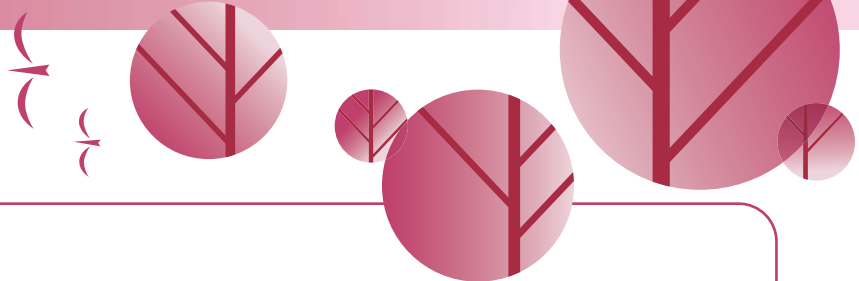
1991年	第1弾：つがいけサイクル'91 第2弾：マジックショー「スノーピーの不思議な世界旅行」 第3弾：全日本オフロードサイクリングIN桐池	2002年	第20弾：ハンガリー国立歌劇場「こうもり」 〈東京公演〉 ハンガリー国立ブダペスト・オペレッタ劇場 「チャールダーシュの女王」 〈名古屋公演〉
1992年	第4弾：ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団 「ウィーナ・ワルツの調べ」 第5弾：試写会「ザ・スタント/アメリカ物語2」 第6弾：'92スタジアムトライアル	2003年	第21弾：ポーランド国立歌劇場「トゥーランドット」 〈東京公演・名古屋公演〉
1993年	第7弾：ウィーン・ワルツ・オーケストラ 第8弾：マウンテンバイクフェスティバルINダイナランド 第9弾：スタジアムトライアル	2004年	第22弾：ローマ・イタリア歌劇団オペラ「椿姫」 〈東京公演・名古屋公演〉 第23弾：ハンブルクバレエ「眠れる森の美女」 〈東京公演〉
1994年	第10弾：ウィーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラ 第11弾：イノアック IRCカップ	2005年	第24弾：チェコ国立ブルノ歌劇場「カルメン」 〈名古屋公演〉
1995年	第12弾：レニングラード国立バレエ「白鳥の湖」 第13弾：イノアック IRCカップ	2006年	第25弾：ブラハ国立劇場オペラ「フィガロの結婚」 〈東京公演・名古屋公演〉
1996年	第14弾：ハンガリー国立ブダペスト・オペレッタ劇場 「メリーウィドウ」	2007年	第26弾：ハンガリー国立ブダペスト・オペレッタ劇場 「こうもり」 〈東京公演・名古屋公演〉
1997年	第15弾：レニングラード国立バレエ「ドン・キホーテ」	2008年	第27弾：チェコ国立ブルノ歌劇場 「タンホイザー」 〈東京公演〉 ウィーン・ワルツ・オーケストラ 〈名古屋公演〉
1998年	第16弾：レニングラード国立バレエ「眠りの森の美女」	2009年	第28弾：レニングラード国立バレエ団 「眠れる森の美女」 〈東京公演〉 レニングラード国立バレエ団 「ジゼル」 〈名古屋公演〉
1999年	第17弾：ウィーン・カンマー・オペラ「こうもり」	2010年	第29弾：ニューイヤースペシャルコンサート コルツ・ウィーン 〈東京公演〉 ウィーン放送交響楽団 〈名古屋公演〉
2000年	第18弾：レニングラード国立歌劇場管弦楽団 「華麗なるバレエ・ワルツの祭典」		
2001年	第19弾：ブラハ国立劇場オペラ「魔笛」 〈東京公演・名古屋公演〉		



## 財団法人イノアック国際教育振興財団

1950年代からグローバル展開を推進してきたイノアックは、世界に通用する市場価値をもった人材育成の必要性を痛感してきました。

そのため、グローバルに活躍する人材の育成を目的とした「イノアック国際教育振興財団」を1987年に設立しました。設立以来、中国、韓国をはじめ様々な国の優秀な学生の海外留学に奨学金を給付し、支援を受けた学生の人数は200名を超えます。こうした人材が将来世界を舞台にはばたくことは、イノアックの大きな喜びです。



## 年末バザー開催（安城事業所・桜井事業所・船方事業所）

毎年恒例の年末バザー。この企画は労使の実行委員会を9月に発足し、3ヶ月の準備期間を経て行われます。

事業所付近に住まれる地域の方々にも声掛けを行い、安城事業所では総勢650名の参加者がありました。

当日、野外では物産品やグループ会社の商品販売、また㈱イノアックリビングの商品展示と即売が行われました。食堂内では温かい食事と日頃ご協力を頂いている業者の方々の即売会、そして大抽選会が行われました。

地域の方々の交流の場として盛り上がったイベントとなりました。



安城事業所



安城事業所



船方事業所



桜井事業所



桜井事業所



今池小学校  
工場説明風景



今池小学校 発泡実験風景

## 小・中学校児童生徒の工場見学や体験学習

安城事業所では、今池小学校の3年生児童と先生を招いて工場見学を開催しました。ショールームでイノアック製品を見学後、研修室で会社概要を聞き、ウレタンフォームの簡易的な発泡実演を見て、たくさんの質問がありました。後日、参加された児童からはものづくりに対する楽しさを感じた等、多数の手紙をいただき、当社としてもうれしく感じております。

桜井事業所では、最寄りの中学校からの代表生徒が、職場での体験学習を1週間にわたり行いました。

## 献血活動の継続・推進

桜井事業所・安城事業所では献血を昭和41年から1年に1回行っています。開始当時は、社員数の関係もあって安城事業所に献血車が来て桜井事業所からは献血しに出向いていました。昭和61年9月からは各事業所で行うようになり、現在に至っています。愛知県赤十字センターを通じて、愛知県下の各医療機関で輸血用血液として使用されています。今後も献血活動を継続していきます。



## お客様との関わり

### お客様満足度アップを目指した営業活動

イノアックグループの営業部門は、「暮らしをもっと豊かにしたい」という企業理念に基づき、お客様満足の向上を全ての行動規範として活動を続けています。拡大するグローバルカスタマーの事業展開への追従・スピードアップを会社方針に積極的な展開をしています。

お客様の声を直接お聞きするための「顧客満足度アンケート」は、私どもの活動に一つの指針を与えています。これからも、変化し続けるお客様のニーズに、グローバルかつ迅速にソリューションを提案し、お客様との強い信頼関係を築いて参ります。

### お客様からの評価・受賞

イノアックでは、世界のお客様にご満足いただける地球環境に配慮した製品の供給を目指しております。

国内においては、コスト協力と新製法・新材料の積極的な開発を評価されての受賞や、海外の拠点におきましても品質優秀賞を受賞するなど、世界のお客様より評価をいただいております。

今後とも Quality (品質)・Cost (コスト)・Delivery (デリバリー)・Safety (安全性) でお客様より高い評価を得られるように体制の強化に継続して取り組みます。

## 品質向上を実現する取組み

### イノアックでは品質向上を実現するために従来のQC活動の他に品質革新プロジェクトという活動を2007年より取り組んでいます。

#### ●各事業所での根本的な品質改善を意図した品質革新プロジェクトの実行

すでに実行されている品質レベルを日常的、持続的に改善する活動に加えて、各事業所で根本的に重要な品質属性(製品の歩留まり等)を取り上げてその圧倒的レベルアップを図るべく事業所内の事業責任者、品質保証、製造、技術スタッフに加えて、本社グローバル品証も加わり全社的視点からの検討を図っています。

#### ●現状把握、その分析から大きな効果を得ることができるための改善仮説の設定

実験等を粘り強く実行していくアプローチをとっています。事務局には日本人のみでなく、中国人スタッフも参加し、中国他海外事業所への展開も図っています。

### テーマ例としてウレタンブロックの残材ロスの削減など 自社・協力会社を横並びに評価できるチェックシート方法の開発

#### ●品質セミナーによる管理者スタッフトレーニング

品質を核としたマネジメント業務ができるように、現在及び将来のマネージャー候補に品質改善に必要な現象の説明能力・問題解析・改善案の導出・将来同様不具合の抑止の観点から品質マネジメントの基本トレーニングを行っています。修了にあたっては自部署の品質問題のマネジメント視点での解決を、上司の協力を得て行います。

#### ●海外への生産移管に対応した品質マネジメントの検討と対応策の実行

国内生産の海外への移管時の円滑な移管ができるようしくみの構築と、海外生産品の日本での使用にあたっての問題の事前解決のための現地・日本側の検査機能の充実、さらには、事業ごとに日本からの生産移管を標準化したパッケージの開発を行っています。

#### ●検査会社

海外で生産した製品を日本で受入検査していましたが、海外現地会社に検査会社を設置し、日本での受け入れ検査をなくす活動をしています。また現地会社でのフィードバックが早くなり、工程内不良の低減につながっています。



品質革新プロジェクト